

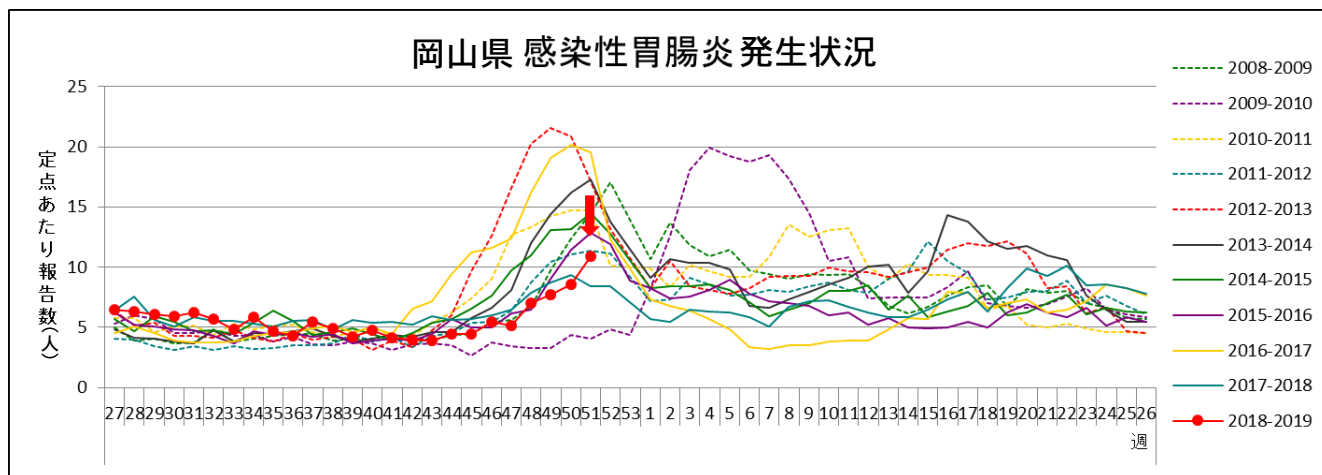
感染性胃腸炎週報 2018年 第51週 (12月17日～12月23日)

岡山県は『食中毒（ノロウイルス）注意報』発令中です

【お知らせ】 次週、2018年第52週(12/24～12/30)の感染性胃腸炎週報は、2019年第1週(12/31～1/6)とともに、2019年1月11日(金)にホームページへ掲載いたします。

岡山県の流行状況

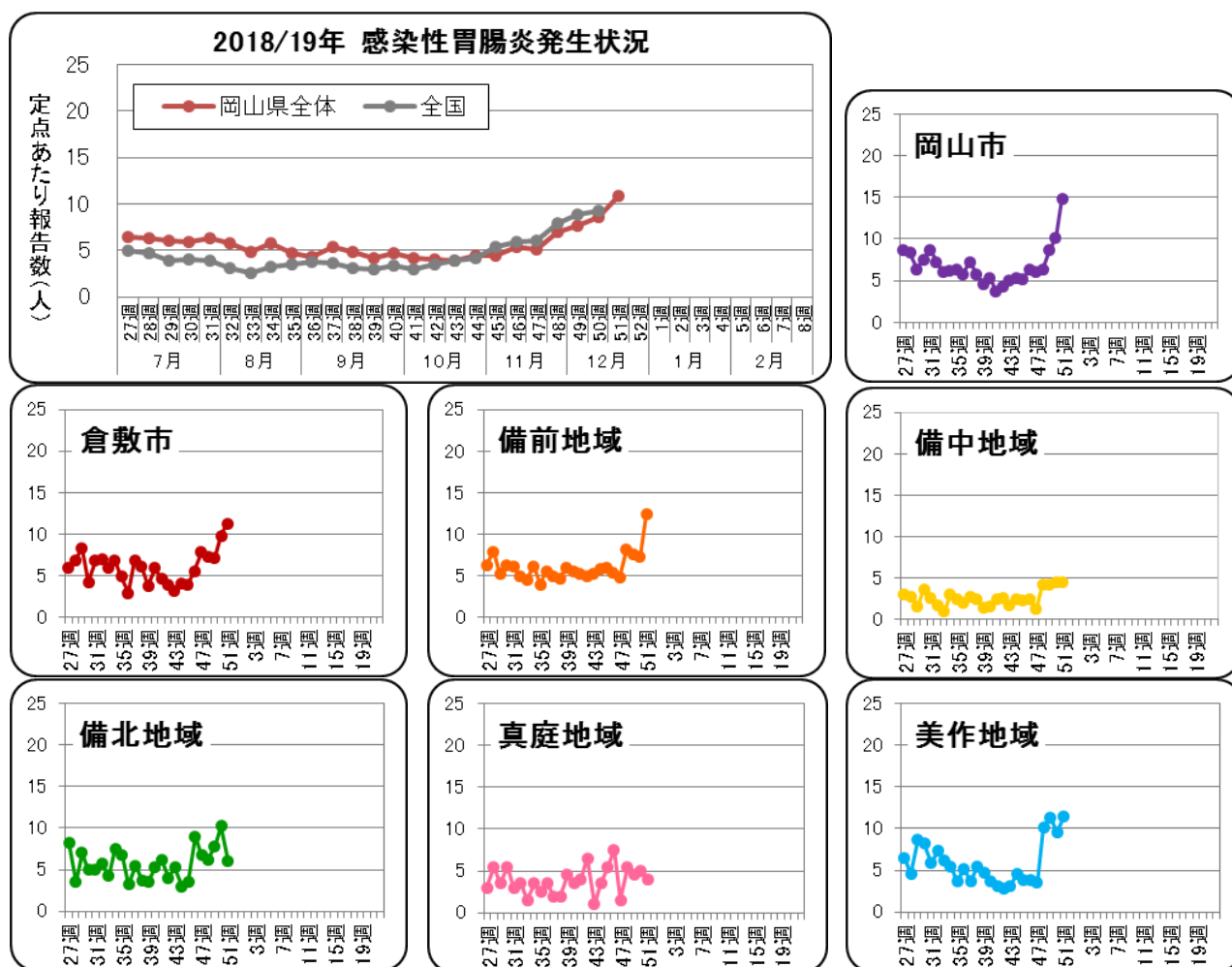
○感染性胃腸炎は、県全体で589名（定点あたり10.91人）の報告がありました（54 定点医療機関報告）。

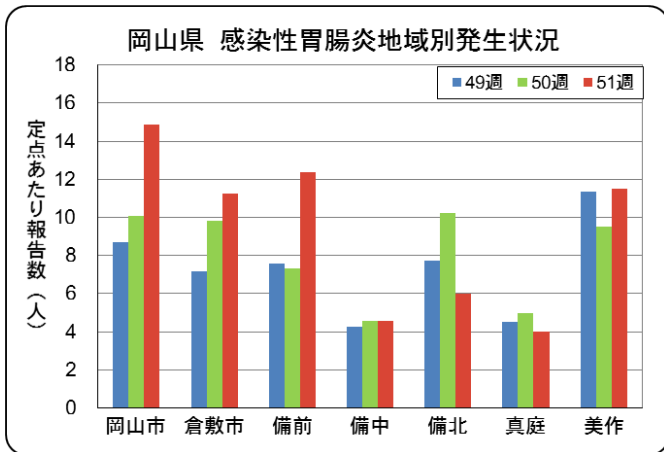


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で589名（定点あたり8.56 → 10.91人）の報告があり、前週から増加しました。冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

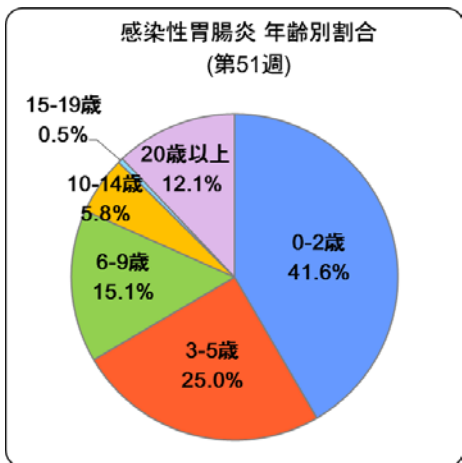
◆地域別・年齢別発生状況





| レベル3 | | レベル1 | 報告なし |
|-------|-------|------------|------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値 | 基準値 |
| 20 | 12 | 0 20未満 | 0 |

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、岡山市（14.86人）、備前地域（12.40人）、美作地域（11.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

第51周年齢別割合では、0-2歳 41.6%、3-5歳 25.0%、6-9歳 15.1%の順で高くなっています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予 防 方 法>

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。

拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水処理または次亜塩素酸ナトリウム（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう（中心部を85～90℃で90秒間以上）。

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

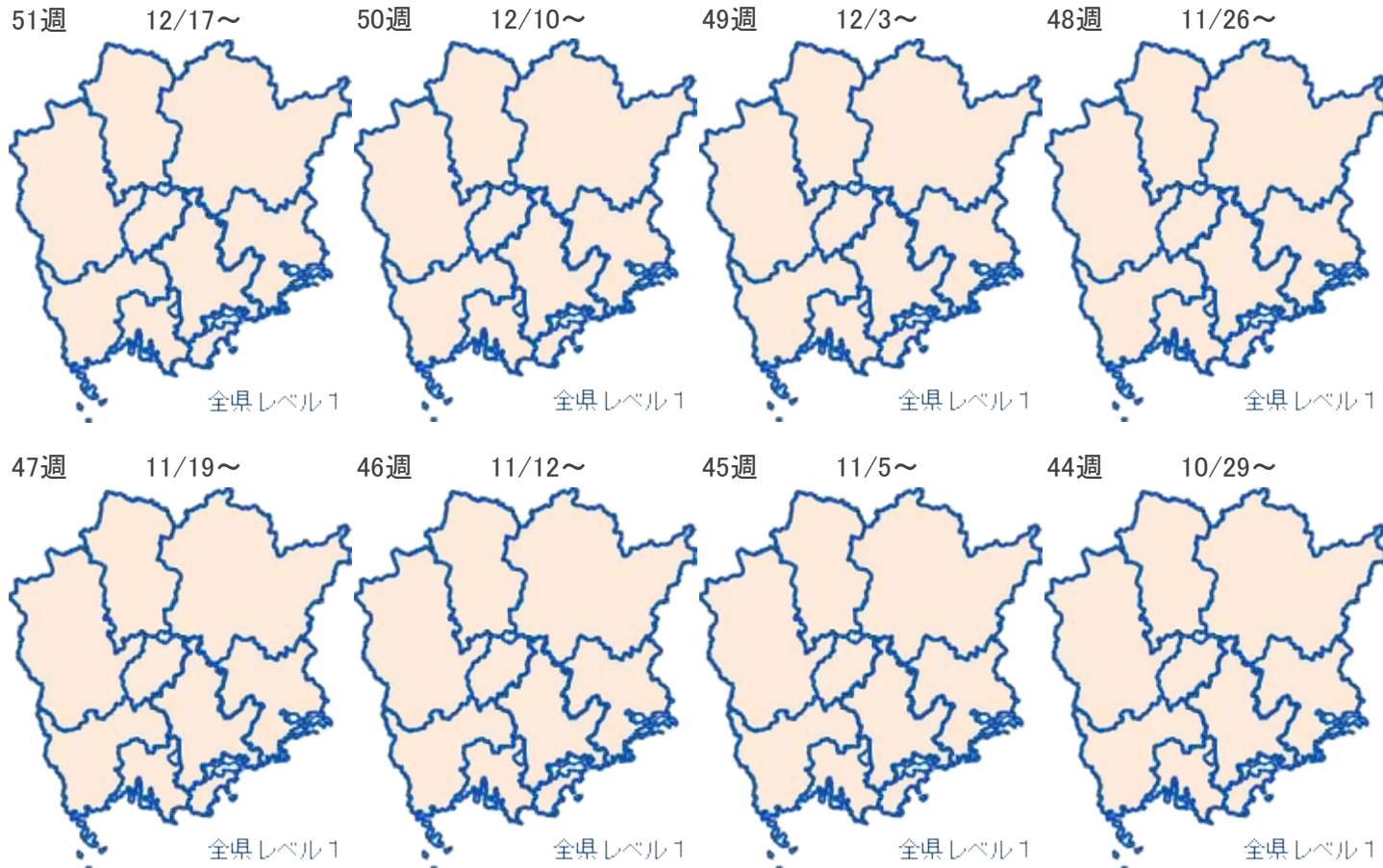
※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2018年 51週

2018年12月25日

16:28:25



感染性胃腸炎

| レベル3 | | レベル2 | レベル1 | 報告なし |
|-------|-------|------|-----------|------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値 | 基準値 | 基準値 |
| 20 | 12 | | 0 < 20 未満 | 0 |

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。